

小論文

2月25日(金) 情報学部(情報社会学科)

9:30 ~ 11:30

注意事項

試験開始前

- 1 監督者の指示があるまで、問題冊子、解答用紙、下書き用紙に手を触れてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、全部の解答用紙(2枚)に受験番号を記入しなさい。

試験開始後

- 3 この問題冊子は、3ページあります。はじめに、問題冊子、解答用紙、下書き用紙を確かめ、枚数の不足や、印刷不鮮明なもの、ページの落丁・乱丁があった場合は、手をあげて監督者に申し出なさい。
- 4 解答は、すべて別紙解答用紙に記入しなさい。(下書き用紙と間違わないよう十分注意してください。下書き用紙は、採点対象となりません。)
- 5 文字数制限のある解答用紙の記入については、下記の点に留意すること。

・書き出し・改行後は、一マスあけない。 ・句読点なども1文字と数える。 ・英数字は一マスに2文字入れてよい。
--
- 6 問題は、声を出して読んではいけません。
- 7 配点は、比率(%)で表示してあります。

試験終了後

- 8 問題冊子と下書き用紙は、必ず持ち帰りなさい。

近年、インターネット上の攻撃的な言論は、日本を含む多くの国で深刻な社会問題となっています。次の文章は、『正義を振りかざす「極端な人」の正体』（山口真一著、光文社、2020年）の一部です。よく読んであとの問いに答えなさい。なお、問題作成のために文章を一部改変しました。

著作物引用のため非公表

著作物引用のため非公表

著作物引用のため非公表

(注1) 著者によれば、自分の意見を正義だと思い込み、異なる立場の人びとに対して極端な物言いや批判を含む言論を繰り返し発信する人のこと。

(注2) 根拠のない悪口を言ったりして、他人を傷つける行為。

(注3) 不特定多数の人が見られる状態で他人への根拠のない悪口を発信し、その人の社会的名誉を傷つける行為。

問1 下線①の内容を要約した上で、なぜインターネット上の誹謗中傷が告訴されにくいかを説明しなさい。(200字以内)

(配点 40%)

問2 下線②に関連して、インターネット上の誹謗中傷に対する法規制と表現の自由との間で「バランス」の取れた解決策にはどのようなものが考えられるかを検討し、あなたの考えを説明しなさい。(400字以内)

(配点 60%)